

# 宇都宮大学 共同教育学部

## 受験生・高校生と学部とをつなぐメッセージ集

# 学校好き、集まれ!

(宇都宮大学は栃木県にある国立大学法人です)

2021年9月発行

### ●●●目次●●●

*メッセージ集の発行にあたって	1	*宇都宮大学近辺の様子	8
*学部学生の大学生活と場所	2	*過去6年間の入学者の出身校	9
*学校教員を目指して	5	*在学生在が語る大学受験に向けた学習	10
*宇都宮での生活	7	*学部教員からの学びのメッセージ	12
		*入試日程, アンケート調査のお願い	16

### メッセージ集の発行にあたって

編集責任者より

このメッセージ集をお手に取っていただけたみなさん、こんにちは。宇都宮大学共同教育学部です。と紹介したとき、「よく知ってますよ」と反応していただける県内や近隣の方がいたり、「えっ、宇都宮ってどこ?」と思う遠方の方もいたりすると思います。

現代はホームページを世界どこからでも見られますが、そこにたどり着いてもらうためには、まずは存在を認識してもらわなくてはなりません。そうしないと検索すらかけてもらえない……。このメッセージ集には、宇都宮大学共同教育学部をより一層知ることのできるホームページ情報も各欄や本メッセージ集の最後に記載しています。そちらもぜひご覧いただきたく思います(画像や映像などの情報も多数あります)。

このメッセージ集は何を意識して作ったかという、学生や教員の生の声を伝えたいということ。また、高校生の学びにつながるメッセージを伝えたいということ。こういったことを考えました。本来ならオープンキャンパスなどで大学にお越しいただき、学生や教員に直に会っていただくほうがよいのですが、しかし現在はCOVID-19感染予防のためになかなか思うよう

に実施できません。また、仮に来学しても、なかなかたくさんの在学生在や教員とやり取りすることも難しいと思います。受験情報のサイトには在在生と思われる人が書き込んでいることもあります。うまく伝わっているか心配することも多いです。在在生も教員も、受験生や高校生に伝えたいことは結構あると私は思っていたので、その機会を作りたいと思いました。

北関東の「栃木県宇都宮市」にある「国立大学法人」の「共同教育学部」という教員養成のための学部。そこに教員を目指す人々が集い、共通の学びやそれぞれの分野の持つ専門性などを通して、卒業後は栃木県や出身都道府県で学校教員として活躍してもらいたい。その意志のある未来の学生を心待ちにしています。

しかし、卒業後の話をする前にいろいろなことが思い浮かぶと思います。共同教育学部での生活は?教員を目指す学びとは?宇都宮ってどういうところ?どうやって受験勉強すればよい?どういうことを考えて学ぶ姿勢を持つとよい?そういったことの参考にしてほしくて、学部学生や学部教員にお願いしてメッセージを寄せてもらいました。

個性の輝くメッセージの中でみなさんの心に届くものが1つでも2つでもあることを願っています。

# 学部学生の大学生活と場所

学生は学部や大学の中でどのように生活しているでしょうか。在学生の大学生活の様子を教えてくださいました。さらに、関連した学部内や大学内の場所も教えてもらい、それらの場所の写真も一部掲載しました（具体的な紹介になると思います）。コロナ禍の状況で、受験生の皆様へは来学での説明の機会も限られていますが、これを読んで学生生活を少し実感してもらえればと願っています。

## 大学施設の有効活用を！

教育分野3年，鹿沼高等学校出身（栃木）

私が教育学部の施設で紹介したいのは「計算機演習室」です。計算機演習室というとなんだか物々しいコンピューター設備が並んでいるようですが、パソコン室のような部屋です。この部屋は授業で使われている時間帯以外なら、（ほとんどいつでも）自由にパソコンを使うことができます。大学の授業時間割では授業の無い時間帯がありますので、その空いた時間帯のうちにレポート課題を終わらせてしまおうというわけです。自分のノートパソコンを学校まで持っていくのはかなりの手間なんです…。更に計算機演習室にはプリンターも完備されていて、毎年500枚までは各々自由に印刷できます。オンラインでのレポート提出も増えているので、計算機演習室も活用すればプリンターの購入は不要かもしれません。

次に、大学図書館も要チェックな施設です。高校とは蔵書数は桁違い。その種類もかなり幅広いです。大学の授業やレポートでは文献にあたることが多く、それらは普通の本屋さんで取り扱っていなかったり、値段が高かったりすることが多いんです！時間的にも経済的にも図書館の存在はとてありがたいものです。もちろん小説や新刊も取り扱っています。読みたい本があればまずは図書館を覗いて蔵書検索をしてみてください。また、仕切りが設けられた個別のブースもあり、テスト期間の勉強には最適です。

最後に番外編として紹介したいのは、共同教育学部の授業が多い8号館のすぐ隣にあるミニストップです。なんとといってもこの売りはスイーツ！ラインナップも季節によって変わります。テスト明けなど、自分へのご褒美として利用する学生も大勢います。



学内 Wi-Fi 化が進むまでは、計算機演習室は重要な学習拠点です。



学内での大事な購買場所、ミニストップ(左上)と大学生協(右下)。

## リアルが学べる模擬授業室

社会分野3年，高岡第一高等学校出身（富山）

宇都宮大学共同教育学部には、模擬授業室があります。教卓や生徒用の机・椅子、黒板などがあり、学校において欠かせない「教室」が再現されている場所です。この場所は名前の通り、模擬授業を行う際に利用できます。模擬授業とは端的に言えば、自分が作った授業を実際に練習としてやってみることで、他の学

生を生徒役に見立てて、実際に学校現場の教室で授業をするように練習することができます。模擬授業室の生徒用の机や椅子は、実際に学校現場で使われている規格と同じもので、リアルな教室を感じさせてくれます。また、黒板・教卓があり、板書の書き方・レイアウト、チョークの書き心地、教卓の使い方など、授業を行う上で必要なことや大切なことなど様々なことを学ぶことができます。私も何度か利用していますが、チョークの使い方、見やすい板書作り、授業を受けている生徒（学生）の様子など、使うたびに色々なことに気付かされます。教員養成課程ですから、実際に教員になることを想定して、教員になる前の学生のうちに教室に近い環境で授業の練習ができるということは、とても勉強になるいい経験だと思います。

共同教育学部には他にも教員になる上で必要な学びができる場所がたくさんあります。ぜひ我々とともに大学で学びましょう！



リアルな学校教室を再現したもの以外にも、模擬授業が行えるようなサイズの各種教室が学部の中にはあります。

## 理科分野での学びと実験室

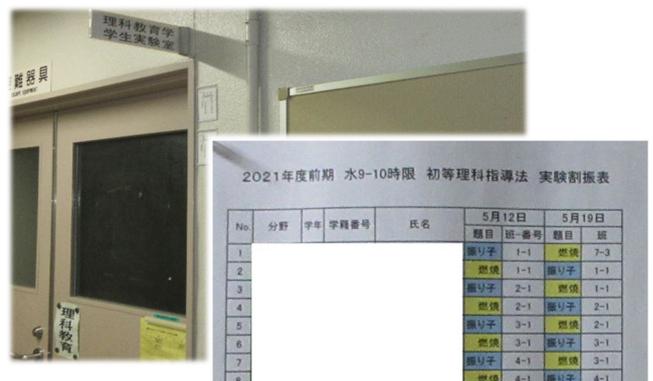
理科分野3年、さいたま市立浦和高等学校出身（埼玉）

1年生のときは、教育の基本について学び、小学校の先生になるための授業を多く受けることとなります。小学校の教科はたくさんあるので、ちょっと忙しいです。授業内容は中学や高校で聞いたことあるものも多いので、楽しみながら授業を受けることができます。

2年生になると、小学校の先生になるための授業と並行して、分野の授業が始まります。高校生の皆さんは現在、何の理科の勉強をしていますか？物理・化学・生物・地学、それともそれらの基礎教科でしょうか。私は高校生のとき物理基礎・物理・化学基礎・化学・生物基礎を学びました。理科分野では、理科の教育法に加え、物化生地での授業とその実験の授業があります。

実験の授業について詳しく紹介します。物化生地それぞれに実験室があり実験の授業はそこで行います。例えば、力学台車の運動を測定・中和滴定・玉ねぎの細胞観察を行います。どれも中学校や高校で一度は経験したり、教科書に載っていたりという実験ばかりです。教師になるためにはそれらの実験ができるようにならなければなりません。高校と違うのは一人に一台顕微鏡を使って観察をしたり、実験を一人でこなしたりするところにあります。さらに実験で得たデータは表計算ソフトを用いて解析します。表計算ソフトの使い方を学ぶのも実験の授業の一環です。また、実験に限らず分野ごとの授業は少人数の授業になります。分野のみんなとも先生とも仲良くなれます。

理科分野は3年で研究室配属が決まります。研究室の授業は専門性が高くなり面白いです。発表などもあります。理科分野での学びは面白いですよ。



各分野の専門性を活かした場所でも、分野の専門の授業のみならず、教員免許取得のための授業も行われています。

## 有意義な学習を支えてくれる図書館

社会分野3年，鹿沼高等学校出身（栃木）

私が大学生生活を送る中でよく行く場所は、附属図書館です。教育学部の授業を主に行う8号館の向かい側にあるので、気軽に行くことができます。

1年生の頃は、必修科目の関係で、授業と授業の間が1時間ほど空いてしまうことがありました。友人とおしゃべりすることがほとんどでしたが、1人で過ごすときには図書館に行って、本を読んだり、課題をしたり、たまにお昼寝していました。大学生になると遊びやアルバイトでも忙しくなったり、通学時間が伸びたりする傾向になるので、隙間時間を活用して効率的に課題に取り組むよう、意識的に行動していたと思います。私は高校生のときに比べて、勉強する機会が減少し、集中力も低下していたので、「場所の切り替え」がとても大切でした。集中して課題をやりたいときや、テスト前に自習室のような感覚で利用します。

図書館の蔵書は多岐にわたっています。ベストセラーなどの書籍や、専門的な雑誌、とても大きな辞典など様々です。私は西洋史を専攻しているので、卒業論文を書くことを見据えて、西洋史や民族学に関する文献を読むことが多いです。そのほかにも、イギリス文学などの西洋文学を読んで、関心の幅を広げようと意識しています。

大学生活は、良くも悪くも自己責任な部分が多いです。「社会人への長い助走期間」でもある大学生活、楽しむのはもちろんですが、先を見据えて有意義な時間を過ごしていただきたいです。



附属図書館は共同教育学部と通りを挟んだだけで隣りにあります。

## 自習に最適！7号館！

音楽分野3年，古河中等教育学校出身（茨城）

私は、7号館（音楽棟）で授業を受けることが多いです。音楽棟は、音楽分野が主に授業をする音楽ホールという教室があり、そこには様々な楽器が置いてあるため、器楽の授業を行ったり、合奏の授業を行ったりしています。リコーダーだけでなく、ギターや箏などの様々な楽器を経験することができます。また、練習室があり、そこには各部屋に1台ピアノが置いてあり、音楽分野の学生は自由に利用することができます。また、その他の楽器を練習する部屋としても利用することができます。私も、授業が無い時間に利用して練習しています。

音楽ホールは音楽分野の学生が主に使うのですが、1階には、全学生が使用できるティーチングコモンズという場所があります。ここは、話し合い活動や学習スペースとして自由に利用することができます。

そして、教職センターがあります。ここでは、教員を目指している学生に向けての情報提供や支援を行っていたり、ボランティア活動についての情報を得ることができたりします。私自身もここで学校へのボランティアが募集されていることを知り、ボランティア活動をしたことがあります。

以上、7号館には様々な教室や施設があります。入学した際には、是非足を運んでみてください。



7号館の音楽実技の教室。まるでコンサートホールのような感じです。

共同教育学部内には様々な設備・スペースがあります。右のQRコードからご覧ください。

<http://www.edu.utsunomiya-u.ac.jp/1007.html>



# 学校教員を目指して

宇都宮大学共同教育学部は教員養成の学部です。「教員養成」と聞いて、どのような授業や活動を思い浮かべますか？教員免許を取るための授業や教育実習などはすぐ頭に浮かぶと思いますが、他にも分野ごとに教員を目指すための様々な授業が工夫されています。在学生に、教員を目指していくときに自らがこれまで経験したことを語っていただきます。

## 学校教員を目指すなら宇都宮大学

保健体育分野3年, 福井工業大学附属福井高等学校出身(福井)

私は高校時代に教員になりたいと強く思い、この宇都宮大学を目指しました。福井県からこの宇都宮大学を選んだ理由は二つあります。一つ目はクラス担任制という大学の先生との近い距離感、手厚いサポート・アドバイスがあることです。二つ目は学生主体の部活動にも関わらず、高い競技成績を残していたことです。

最初は学習指導要領という存在すら知らなかった私ですが今では実習に向けて指導案の作成など、専門的な知識も身につけてきました。宇都宮大学では1年生の頃から教育現場を意識できる講義や環境があり、2年生で実際にボランティアとして学校現場に足を運び、3年生で教育実習、4年生になると教員採用試験に向けて集中して勉強できるという素晴らしい教育カリキュラムがあります。

また、保健体育分野の授業では指導法の専門的な知識だけでなく、生理学や解剖学、心理学などスポーツに関する専門的な知識も身につけることができ、非常に面白いです。この身につけた知識を所属しているバレーボール部でも還元し、チーム全体の競技力アップに努めています。学生主体の部活動であるため、学習した指導方法や保健体育での専門的な知識を実践する形にできることも共同教育学部の強みだと思います。

実際に学校現場に足を運ぶと、自分が思っていたものとは違うこともあり、教員志望をやめようかと思うこともありました。しかし、共に教員を目指す友人の励ましをもらい、物事の捉え方を知っていったり、実際の教員の方のお話を聞いていったりすると、教員の素晴らしさに気づくことができ、頑張ろうと思うことができました。教員を目指す人にも様々な理由があり

ます。それは人それぞれで良いと思います。だからこそ様々な意見、価値観を吸収することができます。

このようなコロナ禍でも受け入れてくる実習先があるのもこれまでの先輩方の積み重ねです。学校教員を目指すなら、宇都宮大学を強くお勧めします。

## 必要なのは自分の教科だけ??

国語分野3年, 栃木高等学校出身(栃木)

共同教育学部では小学校免許を取得できるカリキュラムが組まれています。「いや、私を目指しているのは中学の教員なので小学校免許要らない。専門教科をとにかく深く学んで卒業できる大学の方がいい。」こう考える方もいるのではないのでしょうか。かく言う私も中学校志望ではありますし、入学してからもある時期までは「小学校の勉強なんて…」と思っていました。

しかし、大学で学ぶうちに、中学校教員を目指すからこそ小学校教育の理解が必要なのではないかと考えるようになりました。そのきっかけとなったのが、小学校教科の教え方を学ぶ「小学校指導法」の授業です。皆さんも経験がある通り、小学校の先生は基本的に全ての教科を教えます。したがって、国語だけでなく理科や図画工作などの指導法についても学ばなければなりませんでした。一方で、それは各教科の視点から子どもを捉えるということでもありました。考えてみれば、子どもは小学校を経て中学校に入学してきます。言い換えれば、中学校の学びは小学校での学びの上に立つのです。小学生への理解を深め、その上で中学校における自身の専門教科に携わることが必要だと思に至ったのです。

もちろん、教科の専門性を深めることの重要性を否

定するものではありません。教科についても充実した指導を受けられます。国語分野に関していえば、先生方は博学才穎、親身であり、求めればどこまでも学ぶことができます。

広い見識と深い専門性を身に付けた教員、めざしてみませんか？一緒に頑張りましょう！！



主体的に取り組む人には、就職支援室の情報や諸支援があります。

## 教員を目指す学びのなかで

数学分野3年，足利女子高等学校出身（栃木）

中学生の頃にお世話になった先生に憧れて教師を目指すようになり、それを叶えるべく宇都宮大学共同教育学部に進学しました。

共同教育学部の教員養成課程の中では、分野ごとの専門的な知識だけでなく、教員になるために必要な教育心理や教育相談について、生徒指導・進路指導の行い方なども学ぶことができます。また、社会の情報化が進むなかで、私が小・中学生だったときにはまだあまり馴染みのなかった ICT 教育について学ぶことができたのも私にとっては大きかったです。

いろいろな科目があるなか、私が特に印象的だったのは、「板書」について考える授業です。授業の思考の流れを表すという大切な役割をもっている「板書」に焦点を当て、みんなでどう板書をつくっていくのかを考えていく授業でした。共同教育学部では少人数での授業が多いため、みんなの意見を聞きながら考えをまとめていくことができるのも良さだと思います。そのため、いろいろな人が作る板書を参考にしながら、良い板書とは何なのかを考えることができました。

このようなさまざまな学びの中で、私自身が将来教師になったとき、どのような授業をしたいのか、何を大切にしたいのかなどが明確になってきたような気がします。そのうえで、小学校へボランティア活動に行

ったり、教育実習を行えたりするので、より教師になることへの自分の考えというのがまとまってくると思います。共同教育学部で学んできたことが、教師になるという私の将来の夢を少しずつ現実的なものに近づけてくれています。

## 大学カリキュラム、サポートの活用

教育分野3年，宇都宮北高等学校出身（栃木）

私は現在、小学校の教員を目指しています。所属している教育分野では、教育の在り方や評価についてなど様々なことを学んでいます。授業科目は選択制のものが多く、教育に関して興味のある事柄を追究しています。これまでに受講した科目の中に「視聴覚教育」というものがあり、これがとても印象に残るものでした。授業の中では教育現場で活用できる視聴覚教材を分析し、実際に自分たちで作成したり、模擬授業を行ったりしました。視聴覚教材を自分たちで作ることで、子どもたちの発見やつまずき、配慮が必要な点に気付くことができ、その後に控えている教育実習に活かせる経験ができました。

その他、家庭科の二種免許を取得するために家政分野のことを学んでいます。家政分野所属ではありませんが、宇都宮大学の教員養成課程では、興味のある科目を自由に学び、免許取得を目指すことができるため、家政分野について学びを深めています。

学校教員を目指す上で必須となるものが教育実習であり、先にも述べたように8月末以降に教育実習を控えています。宇都宮大学では教育実習の前に附属小学校や附属中学校の学校観察期間が設けられており、実習の前に担当クラスの様相を知り、実際の授業を観察できるため、授業計画を立てる際にとっても役立ちます。

宇都宮大学のカリキュラムは、学生にとって学びを促進させるだけでなく、手厚いサポートとなっています。学校教員を目指す上でこのサポートを惜しみなく活用することが大学生活での目標です。

共同教育学部の教員就職への取り組みに関しては、右のQRコードからご覧ください。

<http://www.edu.utsunomiya-u.ac.jp/600.html>



# 宇都宮での生活

宇都宮のある栃木県は、全国的にはイメージの薄い面があり、魅力度ランキングといったもので低い順位になることもあります。しかし、自然災害の少なさや農産物（いちごや乳牛など）で全国上位のものもあります。観光名所やスポーツチームなど魅力は県内にいっぱいあります。「住めば都」ではないですが、遠方から入学してくれた在學生に、宇都宮の住み心地を語ってもらいました。

## 程よく都会，程よく田舎

国語分野3年，木更津高等学校出身（千葉）

高校生のみなさん，こんにちは。私は，千葉県から宇都宮にやってきました。宇都宮に3年間住んでみて，ここがいいなと思ったことをご紹介します。

私が思う宇都宮の一番よいところは，「程よく都会，程よく田舎」というところ。自転車さえあれば，生活必需品はもちろん，それ以外のショッピングも気軽にできます。そんな便利な環境ですが，峰キャンパス周辺は落ち着いた雰囲気のため，勉強に集中できます。さらに，各種デリバリーサービスが使えるため，忙しくてご飯が作れないときでもお家でご飯を食べることができます。実際，テスト期間や授業での発表の前などに利用していますが，外食に比べてご飯に時間を割かず，課題に集中できるので，大変助かっています。

次にいいな，と思うところは「あたたかいまち」であるところです。私がよく行くご飯屋さんや和菓子屋さん，コロナ禍での大学生活を心配してくれたり，おまけをつけてくれたりします。彼らの優しさはまるで両親のようで，気軽に帰省することができない状況でも頑張ることができています。また，とちぎボランティアネットワークという団体があり，コロナ禍で食料に困っている学生を対象にフードバンクの活動をしていました。さらに，学生を助けるだけでなく，学生が主体の「Vレンジャー」という活動もあります。ボランティアに興味がある人は参加することができます。

まだまだ宇都宮にはいいところがたくさんありますが，文字数の関係上，紹介は以上で終わりにします。みなさんが宇都宮大学に入学した際には，宇都宮で一緒に楽しく過ごし，学び合うことができたらいいなと思っています。

## 宇都宮という街のシンプルな魅力

教育分野3年，松本蟻ヶ崎高等学校出身（長野）

宇都宮市は土地の高低差が少なく，自転車での移動がとてもしやすいことが魅力の1つだと思います。免許は持っているけど，実際に車やバイクを所有している人は少なく，県外勢にとっては自転車がメインの移動手段になります。買い物やバイト先などに行くのに，自転車で気軽に行けるというのは，とても大きいことだと思います。また宇都宮大学の周辺にはコンビニエンスストアやスーパー，郵便局に大型ショッピングモールに家電量販店，スーパー銭湯まであるので，自転車1つで充実した生活を送ることができます。

自転車移動に関連して，冬の天気の良いさも宇都宮市のよいところだと思います。自転車移動の天敵は天気ですが，宇都宮市は確かに梅雨には関東地方が故に雨や雷がそれなりに降ります。しかし逆に冬に雪はほとんど降らず，晴れの日が多い印象です。朝の気温も氷点下にならないことが多いので，寒くて布団から出られないということが少ないです。寒冷地から宇都宮に来る人は，その冬の暖かさに驚くことでしょう。

また宇都宮市には新幹線が通っていることも魅力の1つだと思います。ただ，新幹線が通っていること自体はそこまで珍しいことでは無いと思います。しかし宇都宮市からは東北や関東に中部，各方面につながる新幹線がでているので，帰省に旅行，研究・調査で他県に移動するとき非常に便利です。また大学生協に行けば学割によって2割引で切符を買うことができるので，お財布にも優しいです。

宇都宮市という場所は，私の快適で充実した大学生活を支えてくれる魅力溢れる街です。皆さんとこの街で共に学べるのを楽しみにしています。

## 知られざる魅力に溢れた宇都宮

社会分野3年，開邦高等学校出身（沖縄）

宇都宮は、他県に知られていない魅力が多い地です。宇都宮に引っ越してくる以前、私が栃木について知っていることといえば某栃木出身のお笑い芸人さんのことだけでした。しかし、宇都宮に引っ越してきてから、日光東照宮に電車一本で行けること、美味しいお蕎麦やお団子があること、自転車で鬼怒川に行けること、カフェがたくさんあること、四季が明瞭で毎年綺麗な桜や紅葉が見られることなど、様々な魅力があることに気づきました。他にも、少し足を伸ばせば大谷資料館や益子陶器市、那須ステンドグラス美術館などに行ることができます。また、都心へのアクセスも良く、美味しい餃子のお店やパン屋さんもたくさんあります。

宇都宮で生活する上で特に私が気に入っているのは、人が多すぎず少なすぎず、都会すぎず田舎すぎず、全

体的にバランスが良いという点です。宇都宮周辺には比較的様々なお店や施設があるので生活に困ることはありません。そこから少し離れば自然豊かな那須や日光に行くことができ、益子や佐野などには隠れ家的なカフェやご飯屋さんも多くあります。栃木と聞くと田んぼや畑をイメージする人が多いと思うのですが、そんなことはありません。「田舎だと生活が不便そうだけど都会に住むのはちょっと…」という人に、宇都宮は最適だと思います。

栃木の人に沖縄出身だと言うと、「沖縄出身なんて羨ましい」「栃木よりも沖縄の方が」と言われることがしばしばあります。しかし私は、沖縄と同じくらい栃木が大好きだし、栃木の魅力をたくさん知っています。知られざる魅力がいっぱいの宇都宮で、あなたも暮らしてみませんか？

### 宇都宮大学近辺の様子(峰キャンパスはJR宇都宮駅から東南方向2km弱のところであり、非常に便利です)



地図については、国土地理院ウェブサイトの下の情報を利用した。紹介の画像ならびに線・文字は編集の際に加えたものである。

(<https://maps.gsi.go.jp/#14/36.541295/139.937840/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1>)

# 共同教育学部過去6年間の

## 入学者の出身高校(都道府県)

栃木県ならびに栃木県に接する県についてはかなり多数の高校からの入学があり、今回はそれ以外の都道府県について掲載しました。遠方の方もぜひ宇都宮大学共同教育学部を知ってください。

<千葉>成田/八千代/佐倉/木更津/幕張総合/麗澤/千葉女子/佐原/匝瑳/成東/千葉東/鎌ヶ谷/安房

<東京>隅田川/白百合学園/小松川/豊島/小平南/国分寺/文教大学附属/淑徳巣鴨/三鷹/明星/穎明館/小山台/日比谷/東京成徳大学/本郷

<神奈川>柏陽/小田原/武相/希望ヶ丘/関東学院/平塚学園/東/桜丘/横浜サイエンスフロンティア

<新潟>高田/村上/巻

<山梨>日本航空/甲府東/日川

<北海道>札幌南/札幌白石/釧路湖陵/北広島/帯広大谷/函館中部/稚内/浦河/旭川西/函館/北見北斗/札幌光星

<青森>青森/三沢/弘前中央/青森東/弘前/弘前南/三本木/田名部/八戸/八戸北

<岩手>一関第一/盛岡第三/大船渡/盛岡大学附属/釜石/盛岡白百合学園

<宮城>仙台第三/石巻/宮城第一/石巻好文館/宮城野/泉館山/富谷/常盤木学園/仙台高専/仙台南/古川学園/古川黎明

<秋田>横手/能代/湯沢/秋田/秋田北/大館鳳鳴/本荘

<山形>山形北/東桜学館/山形南/新庄北/米沢興譲館/鶴岡北/鶴岡南/酒田東

栃木, 茨城, 群馬, 福島, 埼玉の高校出身の方は多数在籍しています。

<鳥取>鳥取西

<島根>大東/出雲

<岡山>興譲館

<山口>岩国

<三重>川越

<京都>山城

<大阪>清風

<兵庫>氷上

/姫路南

<香川>大手

前高松/香川

誠陵

<愛媛>今治

西/三島

<長崎>精道三川台

<沖縄>開邦/那覇

/那覇国際

<長野>長野吉田/諏訪清陵/長野日本大学/松本蟻ヶ崎/岩村田/伊那北/上田/屋代

<静岡>加藤学園/静岡北/韮山/浜松南/浜松市立/静岡市立/浜松日体

<富山>高岡第一/富山東

<石川>金沢桜丘/金沢二水

<福井>武生/鯖江/福井工大附属福井

<岐阜>多治見北

<愛知>昭和/名城大学附属/旭野/向陽

# 在学生在語る大学受験に向けた学習

「どういうふう勉強したら合格できるのだろう？」これは受験生にとっては大問題だと思います。やり方に唯一の正解があるわけではないですが、ここで合格した在学生在がどのような学習をしていたか紹介してもらいます。体験記はあくまで個々人が納得した学習方法を語るものであり、それが絶対のものではないこととはどうかご了解ください。その中でヒントになるものを見つけてください。

## 数回の不合格と一回の合格

数学分野3年，足利高等学校出身（栃木）

「成功より失敗から得られることの方が多い」。これは私が今思いついた言葉です(笑)。ということで、具体的な学習方法ではないですが、私の失敗談から皆さんに伝えられると思ったことをお話ししたいと思います。

私の最大の失敗は、タイトルにもある十数回の不合格です。まず、当時の校長に絶対受かると激励された推薦入試に失敗しました。また、大学共通テスト（当時のセンター試験）も失敗します。そして、受験した私立大学も全て落ちました。加えて、身内の不幸や恋人との破局など私の精神をえぐる出来事も多々あり、推薦で落ちてからの4か月は絶望しかありませんでした。最終的に現役で宇都宮大学に合格しましたが、2次試験を受けるときには完全に合格を諦めていました。

ではなぜ合格できたのかですが、合格は諦めたけれど受験からは逃げなかったからかなと思います。絶望の期間は目標ややる気もなくただ勉強してただけです。しかし、毎日学校や図書館には向かいました。この経験から、目標ややる気と同じくらい目の前のことから逃げないことも重要なのかなと思います。皆さんにも勉強するのが辛いときがあると思いますが、短時間に好きな教科でいいので勉強を続けてみてください。

また、「生きているうえで無駄なことは一つもない。無駄にするかは自分次第。」と私は思っています。不合格続きで高校生活全て無駄だったと思った時期もありました。しかし、紹介した失敗でさえ皆さんに伝えることで意味があるものとなりました。皆さんも今自分がやっていることに意味を見出し、自信を持って大学受験に挑んでみてください。応援しています。

## 夢の実現へ！私なりの受験乗り越え術

国語分野3年，宇都宮中央女子高等学校出身（栃木）

私は、高校1年生の夏休みに課題として宇都宮大学のオープンキャンパスに行き、大学受験を意識し始めました。その後も、夏休みを利用して様々な大学のオープンキャンパスに行ったことが、私にとってとても重要なことだったと感じています。様々な大学を比較することで志望校への気持ちがさらに強くなり、受験勉強をする上での目標がはっきりしました。また、オープンキャンパスでは模擬授業などに参加し、「実際に合格して、宇都宮大学に入学したら、これをやりたい！」などと、合格したときのことを具体的に想像することでモチベーションを保って受験勉強に取り組めたのだと思います。

受験勉強は、とにかく基本を固めて、多くの問題を経験することを意識していました。特に古典や英語は語彙を増やすことで、どのような問題が出てでも理解できるようにすることが大切だと考え、現代文や数学は数多くの作品、問題に触れることで、本番の試験問題に対応することが大切だと考えます。そのため、基本問題と経験を意識し、学校では基本を固めて塾や校外の模試、過去問で経験を積めるように勉強を進めていました。さらに、リスニング対策として、教材を通常より速いスピードで聴いたり、受験勉強の合間に海外映画を字幕で見たりしていました。息抜きにもなり、実際に本番のリスニングでもよい結果を残せたので、自分に合った勉強方法だったと思います。

このたびこのような機会を頂き、受験勉強について紹介させてもらいました。皆さんそれぞれに合った勉強法があると思いますが、私の経験が何かしらお役に立てれば幸いです。

## 真面目をバカになってやること

教育分野3年，文星芸術大学附属高等学校出身（栃木）

栃木県那須塩原市の出身です。私の文章を読んで頂きありがとうございます。個人の体験談ですが、皆様の何かしらの力になれば幸いです。

さて、愚直という言葉を知っていますか。正直なばかりで臨機応変の行動をとれないこと（デジタル大辞泉）です。いわゆる「バカ真面目」です。これは私の受験勉強の様子を表してくれる言葉です。その理由がなぜかをお話しましょう。

当時の天才肌ではない私が実践したのは、演習の繰り返しと徹底した時間管理です。

演習の繰り返しは当たり前と思うかもしれませんが。それでも、「分かったつもり」から「分かった」にする作業としては最も重要です。私の場合は（文系だったので）日本史と世界史の教科書や資料集，問題集を一週間に何回もやって，一人タイムスリップしていました。夢に年表が出てくるくらいやりました。

時間の管理については，那須塩原から宇都宮に通学していたので，隙間時間を埋めることを一番としました。電車やバスはもちろん，休み時間や放課後なども食事以外の時間を全て机や参考書と向き合う時間に変えました。友達がいなかったわけではないですよ。

効率重視の観点で言えば，私の方法は愚策です。でも，そのくらいやらないとダメってことです。ですから，愚策でも真面目にバカになって勉強するのは悪いとは思いません。具体的な勉強方法は他の方を参考に，私からは受験に向かう姿勢やマインドなどを汲み取って頂けたら嬉しいです。

## 合格への「計画」

英語分野3年，真岡女子高等学校出身（栃木）

私は推薦入試と一般入試を受け，最終的に一般試験で合格し宇都宮大学共同教育学部に入りました。

受験勉強において大切なことは「目標・計画・実行」です。数学が苦手だったので，夏休み前までに学校指定の大量の問題集を必ず2周解く目標を決めました。そして目標を達成するために月・週・日単位で逆算して計画を立てました。よく「10時間勉強」などの時間

の目標を聞きますが，それでは内容が薄くなるばかりだと思います。時間ではなく内容から計画することで必然的に10時間以上必要なことに気づきますし，無駄のない時間の使い方ができるのでおすすめです。

朝と放課後は学校の図書室で勉強していたので，推薦対策が始まってからは学校では一般対策，家では添削してもらった作文の直しや面接対策をしました。12月に推薦の結果が出たときは泣きましたが，本番まで時間がなかったので，やるべきことを決め，その後は計画に基づき，ひたすら過去問やワークを解きました。

「やる気が出ないこと」を言い訳にしている間は，合格は難しいです。自分が本番までに必要なことがわかっていれば，残っている時間の少なさにも気づき，自然に集中することができます。

個別試験までの1ヶ月間は志望校だけでなく，その他国立大学の過去問を何年分も解きました。最終的にもう解ける問題がないのでは，と思うほど解きました。これは自分の大きな自信にもなったし，実際に実力はついたと思います。大学合格という目標とそのため具体的な計画，的確に実行することが合格には必須です。

本番まであと少し，宇都宮大学共同教育学部でみなさんと会えることを楽しみにしています。

### TOEIC Listening&Reading IPテスト(オンライン)実施

○新入生・編入生 TOEIC Listening&Reading IPテスト(オンライン)実施について  
(2021/3/16更新)

基盤教育英語科目(必修)を受講するにあたり、TOEIC Listening & Readingテスト(オンライン)によるプレイズメント・テスト(クラス分けテスト)を実施いたします。  
詳細につきましては、基盤教育センター-EPUUのホームページを必ずご確認ください。

### 教職支援部門

時期	教職センター	内容
春期 4~6月	4年生 院2年生	教職科目対策(教育原理、教育法規等) 論作文対策 集団面接対策 など
春期(2次試験対策) 8月	4年生 院2年生	英会話対策 音楽・体育実技対策 集団討論対策 など
秋期 0~12月	3年生 院1年生	採用試験対策の勉強の進め方 教職科目対策(教育心理、算数・数学、理科等) 論作文対策 採用試験合同説明会 など

大学に入ってからも，定期試験だけでなく，TOEICテストや教採等の就職試験があり，上手に計画する必要性は変わらずあります。

## 日常生活に溶け込ませる勉強

家政分野3年，大田原女子高等学校出身（栃木）

私は勉強があまり好きではありませんでした。そのため、机に向かって勉強するのではなく、日常生活の中に勉強を溶け込ませることで、勉強への抵抗感を持たずに学習できるようにしていました。そのなかでも特にやってよかったなと感じる、2つの勉強方法を紹介したいと思います。

まず、トイレやお風呂場の壁に、自分が苦手だと思った内容や問題を、紙に書いて貼りました。そしてその場所に行ったら、必ずそれを考えながら読みました。毎日必ず行く場所に貼ることで、毎日その内容に触れることができるため、自然と身についていきました。

また、毎日寝る前に、漫画や小説のように参考書を20頁ほど読んでいました。この参考書というのは、自分が気に入った参考書、各教科1冊だけです。数学など問題を解く印象の強い教科についても、公式の意味の理解を目的とし、基礎固めとして行っていました。そして読むときは、内容を想像し、考えながら読みました。難しい用語が出てくる内容については、用語を擬人化してストーリーを作るなど、印象に残るか楽しく学習ができるよう工夫をしました。はじめのうちは、分からないことだらけで投げ出したくなったこともありました。1冊を繰り返し読んでいたため、理解が深まっていき、分かることが増え、だんだん楽しくなっていました。

そして最後に勉強方法ではないのですが、受験を体験して最も大切だと感じたことは、やはり睡眠でした。しっかり体を休めることを大切にしていきたいなと思います。

この体験記が、少しでも皆さんのお力になれば嬉しいです。

## 苦手教科克服のため時間を有効に使おう！

教育心理分野3年，足利女子高等学校出身（栃木）

国立大学を受験してみたい！という方の中には、勉強する教科が多すぎる、苦手教科もあるのに大変…という方が多いかもしれません。私もそう思う一人でした。そこで私は、苦手教科に毎日触れる時間を取り、

残った時間やすきま時間に他の教科の勉強をしていました。

私の苦手教科は数学でした。このことを自覚していて克服したい！と思っていたので、私は毎日数学の問題を解くことにしました。問題集は高校で配布されたものや授業でやった問題を使っていました。問題を解くときは丁寧に書くということは意識せずに、どんどん書く！間違えて書いても消す時間があったくない！くらいの気持ちで解いていました。この方法は、試験時間内で速く解く練習にもなっていたと思います。

数学以外の教科は、すきま時間などを使って勉強していました。特に私は電車通学だったので、電車の中で英単語帳や日本史の教科書を見ながら通学していました。毎日参考書を見て付箋やマーカーをひいていると、「こんなに勉強したんだ！」という実感が湧き、試験当日の自信にも繋がります！

私は塾には通っていませんでしたので、どの教科においても高校で配布されたものをどんどん活用して勉強していました。それに加えて、学校での課外にはほぼ参加し、分からないことは先生にすぐに聞くということも意識していました。受験期間はつらいことも多いと思いますが、日々の地道な積み重ねや努力が、後々の大きな自信になります。限られた時間を有効活用して、受験勉強頑張ってください！



大学ホームページのトップページにある「受験生応援サイト」のバナーをクリックすると、大学生活や入試情報にもつながります。

共同教育学部の入試に関する情報は右のQRコードからご覧ください。

<http://www.edu.utsunomiya-u.ac.jp/201.html>



# 学部教員からの学びのメッセージ

大学生の学修の様子を見ていると、「高校生のころからこういうことを考えてくれたらなあ」と感じる  
ことがあります。そのことは、大学に入ってからだけでなく、受験する際の学習のヒントにもなりえること  
かもしれません。日ごろから大学生の授業を担当している大学教員の生の声を掲載します。皆さんの  
今からの学びや受験に少しでも生かしてほしいと願っています。

## 基礎学力と集中力を養おう

人文社会系教員

皆さんは進路を考えるとき、大学受験の教科の成績を  
検討材料になさるのではないのでしょうか。英語は得意  
だな、国語の古文は点数がとれるけれど、現代文はム  
ラがあるな、社会の日本史は得意だけれど、地理はも  
うひとつだな、等々。教員養成学部に進学する際、「ど  
の教科の教員免許を取得するか」は、重要な選択ポ  
イントではあるのですが、大学受験の成績によって、  
高校生の皆さんが進路を決定されることを、私は少  
し残念に思います。なぜなら、国語・社会・英語とい  
っても、様々な学問領域があり、大学ではそのうち  
の1つを選択して卒業論文を書くのですが、どの領  
域を面白いと感じるか、本当の学びの喜びを見いだ  
せるかは、大学入試の教科の成績とはあまり関係が  
ないからです。また、大学入学後、強い興味を抱け  
る領域が1つでも見つかる、苦手とする科目の高校レ  
ベルの学力は、日々の学びのなかで容易に習得でき  
るのが、30年、宇大生をみてきた私の経験知です。

さて、では、皆さんは、いったい何を進路選択の  
材料にすればよいのでしょうか。大学で有意義な学  
びをするために、高校時代に何をすればよいのか。  
2つあります。1つめは、細切れではない、長い読  
書です。1冊の長編、1人の作者の著作で、1つの  
テーマで、何冊でもシリーズで読みたいものを  
独自に見つけてください。これに関わる系や分野  
が、あなたの能力を最大限に開拓してくれる学  
問領域です。2つめは、前述と矛盾するよう  
に感じるかもしれませんが、大学受験の勉強を  
全教科、万遍なく行ってください。文系にも  
理系科目で養われる能力は多いのです。その  
逆も言えます。ちなみに、1つめの「長い読書」と  
2つめの

「入試勉強」には共通することがあります。それは  
集中力です。ひとつのことに長時間没頭できる  
集中力を持っている人、こういう若者をお待ち  
しています。

## 社会人としての常識や態度を身につける重要性

人文社会系教員

私は、大学に入学したての新生に対する授業を  
毎年担当しています。「教員を目指す学部の学生  
なのだから、在学中、十分な知識や能力を身  
につけることはもちろん必須ですが、社会人  
として当然要求される能力（社会人として  
当たり前の常識や態度）をも修得してほしい」と、  
新生に伝えています。

①授業開始に遅れないで教室に来る、②授業が  
始まったら、すぐにメモを取り、教科書を参照  
できる準備をしてから、友達とおしゃべりを  
すること、③授業開始時間になったら、直  
ちに私語をやめ、筆記用具を手にすること、  
④課題の提出期限やメールの返信期限を守  
ること、⑤たくさんある授業のスケジュール  
を管理すること、⑥教員からの指示は、聞  
き返さずに済むようメモを取ること、⑦指  
示内容が理解できなければ、勝手に自分  
で解釈して取り掛かるのではなく、きちん  
と内容を確認してから行うこと…。専門分  
野の授業のほか、ここに列挙しきれない  
くらいの細々とした事項についての指導  
を（大学生にもなって、と思いながら  
も）、その都度、根気よく行うことにな  
ります。

社会人に当然に要求される能力が身に  
ついていないと、就職に苦労することは  
目に見えています。誰もそんな人と一  
緒に働きたくはないからです。新生に、  
大学時代は、このような能力を修得す  
る最後のチャンスだと伝えて指導を行  
うと、ほとんどの学生が、徐々

にはありますが、それに応えてくれます。もちろん、このような指導が一切不要な学生も、多数います。また、ごくまれですが、指導が徒労に終わり、自分の指導力のなさを痛感することもあります。

なお、「社会人に当然に要求される能力」を修得した学生の学業成績は、相対的に優れています。それがなぜなのか、考えてほしいと思います。

## 「計算」をなぜ学ぶのか

自然科学系教員

高校で数学を学習する際に「計算」はつきものです。

「計算」は小学校から学んできました。では、テクノロジーやコンピューターが発達してきた今日、なぜ私たちは、「計算」を学ぶのでしょうか。

皆さんのなかにも、「計算」が苦手、面倒だから数学が嫌いと感じているかもしれませんし、「計算」は電卓でやればいいのにと日頃感じている方もいるかもしれません。実は、「計算」を何かの問題を解決する手段として捉える場合と、「計算」の中に潜んでいる重要な見方・考え方そのものを学ぶ場合があります。前者の場合であれば、計算は電卓に任せればよいかもしれません。ここでは、後者の場合について考えてみましょう。

「計算」の具体例として、小学校から学習している加減乗除の筆算を思い出してみてください。こうした筆算には、どんな重要な見方・考え方が潜んでいるのでしょうか。

大きく2つの重要な見方・考え方が潜んでいるように思います。1つは、アルゴリズムの見方・考え方です。筆算には、いつでも答えを導けるように定式化された手順、アルゴリズムがあります。アルゴリズムの見方・考え方は、コンピューターを制御したりする際に用いるプログラミング思考の原初版とみることができます。

もう1つは、物事を振り返り、修正・改善していく見方・考え方です。筆算をすると計算間違いをすることがあります。そのときに、自分が行った計算のプロセスを振り返り、どこが間違えたのか、なぜ間違えたのかを見つけ、修正し、正答を導くことが大切になります。先ほどのプログラミングでいえば、バグをみつ

けて修正・改善することと似ています。自分が行ったプロセスを俯瞰し、修正・改善すること自体は、私たちが生きていくために必要な知恵ともいえます。

皆さんが学んでいることに潜む大切な見方・考え方は何かを見つめ直してみると、学ぶ動機や奥深さが見えてくるでしょう。こうした学びの見つめ直しは、教師になるためにも欠かせません。

## 答えのない問題に“回答”してみよう

自然科学系教員

「気象と関係が深そうな言葉を1つ選び、どうしてそう思ったかについて自身で仮説を立てた上で、Googleトレンドと気象庁のオープンデータを利用して確認し、その一連の過程をレポートとしてWordでまとめ、提出せよ」。これは、今年度(2021年度)の1年生対象の必修授業「データサイエンス入門」という授業の最後の課題です。この授業では、大学のPC端末室を利用して、毎時間大学生活で必須となる、Word, Excel, PowerPointの使い方の基礎とともに、データの活用方法などについて学びます。高等学校で「探究」が重視され、「課題研究」などが取り入れられることが多くなった昨今では、すでにこれらのツールに慣れている方やスマートフォンをはじめとした各種デバイスに詳しい方も多いでしょう。

今ではちょっとわからないことがあれば、何でもインターネットを通じて概ね知りたい情報を入手することができます。そのため、以前のように知識を多くもっていること自体の価値が相対的に低下しました。その一方で、適切な情報を入手することができるか、そして、その得た情報をどのように活用できるか、といった情報活用能力の価値が高まりました。

小学校から高等学校までの初等中等教育段階では、教科書や問題集の問題にいかに速く、正確に“解答”するかが「成績」に大きく関係します。しかし、大学の集大成として取り組む卒業研究やその後の社会で求められる力は、すでに答えのあることに対して“解答”できるかどうかではなく、未知の課題に対してどのように“回答”できるかです。ある有名予備校講師は社会で要求される能力は「解決」と「創造」であると述べて

います。

さて、みなさんは冒頭の課題にどのように取り組むでしょうか。仮説を立てることができるためには、もちろんそれ相応の知識も必要です。その上で初めて適切な仮説を設定することができます。その知識の多くは高等学校までに学んでいます。それをどう使えるか、それを試される場が大学です。

## 「知識と技術」その先に 一創造的に学ぶこと一

芸術・生活・健康系教員

萬鉄五郎という画家が居ました。1885(明治18)年に岩手県に生まれた大正期を代表する画家です。大学は東京美術学校(現東京藝術大学)で油彩画を学び、在学中はいわゆる優等生として写実的描写の技術を深めました。1912年、卒業制作に2点の作品を描いています。ひとつは自画像で、もう一点は《裸体美人》という作品でした。この作品は日本美術史に大きな足跡を刻むもので、後に重要文化財に指定されています。

この画家の代表作が大学卒業時の作品であることは驚くべきことですが、その画風は大学で学んだ写実的なものを逸脱し、独自に興味を寄せていた同時代のフランス絵画の動向を取り入れたものでした。また、1912年卒業時の自画像は大学での学びに忠実な写実性に富む画風であったのに対し、その後、短期間で複数点描かれた自画像も《裸体美人》と同じように主観的な色使いへと瞬く間に変貌を遂げて行きました。

美術史の話から始めましたが、このことは何を物語るのでしょうか。この画家は大学での学びを基礎に自分らしく創造性とオリジナリティを発揮し大成しました。勿論これは有名な画家の話ですが、大学での学びを深く理解し、自分の関心と結びつけながら応用し発展させたことは、多くの者にとって大学での学びをより有意義にするためのヒントであるかも知れません。

今後、大学の授業から多くの知識と技術を得ましょう。しかし、学問の答えはひとつではありません。基礎知識と技術を大切にしながら、客観的姿勢を持ちつつ自分らしい答えを見つけてください。大学には講義・実技・演習などの授業がありますが、どれも受け身の姿勢では不十分です。多くの授業では学んだことを基

礎に自分で調べたり、意見交換したり、模擬実践をしたりして応用しながら学びを深めます。そこには主体的で創造的な学びの姿勢が求められることでしょう。

## 好奇心や探究心を持って学ぼう

芸術・生活・健康系教員

大学では、最終学年時の1年間をかけて卒業論文の作成を行います。卒業論文とは、自分の専門の学問分野において答えが未知である課題を、研究という手法によって明らかにして、論理的な文章でまとめるものです。卒業論文について私は、大学での専門的な学びの集大成であることに加えて、大学卒業後の「未知の課題であふれ返った」社会を生き抜き、活躍していくための力を身に付ける機会であるとも考えています。

ただし、例年、卒業論文への取組の姿勢や完成度は、学生によって大きな差が生じてしまいます(大学の指導教員は、どの学生に対しても熱心に指導します)。自分の研究課題に対して主体的に取り組み、大学教員をも驚かせるほどの成果を挙げて論文にまとめる学生がいる一方、自分の研究課題になかなか向き合えなかったり、指導教員が逐一指示しないと進めることができなかつたりする学生も少なくありません。

こうしたことが起こる主な要因として、私は学生が持つ好奇心や探究心の差を考えています。好奇心とは、珍しいことや未知のことに興味をもつ心であり、探究心とは、物事の意義や本質を探って見極めようとする意欲のことですが、皆さんは学校の学びにおいて好奇心や探究心を持って取り組むことができていますか。

今の皆さんにとって、テストや入試で良い結果を残すことは必要なことと思いますが、その対策の勉強だけになると、大学入学後の学びにおいては伸び悩みます。これからの社会で求められる「自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的に取り組んだり他者と協働したりする力」を身に付けるためには、今、学校で学んでいる内容を自分の日常生活と結び付けて興味・関心を広めておくことや、その内容を学ぶ意義と本質について自分たちの社会で起こっている課題と関連付けながら仲間と議論を深めておくことなどが重要です。

## 共同教育学部の令和4年度入試日程

COVID-19 の感染予防や不測の事態の対応のために、入試の実施方法にも今後何らかの影響が出る可能性もあります。大学からの情報に十分にご注意ください。

### ★学校推薦型選抜 I I A ならびに I B

I A は各分野の専門性を活かした学校教員を目指す受験生のための入試、  
I B は将来栃木県で小学校教員を目指す受験生のための入試です。

【試験日】 2021 年 11 月 18 日 (木)

【出願受付】 2021 年 11 月 1 日 (月) ~ 11 月 4 日 (木)

### ★一般選抜 前期日程

(共同教育学部では令和4年度は後期日程入試を実施していません)

【試験日】 2022 年 2 月 25 日 (金)

【出願受付】 2022 年 1 月 24 日 (月) ~ 2 月 4 日 (金)



入試についての情報は、大学から出る「入学者選抜要項」「募集要項」に全て載っています。受験科目の変更などもあります。

←宇都宮大学のホームページの入試情報ページ

<https://www.utsunomiya-u.ac.jp/admission/examination.php>

### アンケート調査の回答ご協力をお願い

このメッセージ集は本学部として初めての試みでしたが、お読みになっていかがでしたか。

読んでみた感想や今後知りたい情報などをお教えいただきたく、アンケート調査のサイトを設けました。下記の QR コードもしくは URL からアクセスしていただき、回答していただくとありがたいです。

好評であれば、第 2 弾があるかも……。

アンケートの回答は  
こちらから。→

<https://docs.google.com/forms/d/1W1CdKNI4k2LCJ03Yb2zwm7Tm6XKzW0EYKFVA7kASrfg>



宇都宮大学共同教育学部 メッセージ集

### 「学校好き、集まれ！」

2021 年 9 月 21 日 発行

発行者：宇都宮大学 共同教育学部

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350

編集責任：川原 誠司 (共同教育学部教員)

共同教育学部の  
ホームページを  
ぜひご覧ください。→

<http://www.edu.utsunomiya-u.ac.jp/>

